

9月5日(木)に、第11回協議会が開催され、各部会のこれまでの活動状況、第1工区の「あさはた緑地」の公園計画に関する報告が行われました。

公園計画については、今後実施設計の中で協議会等の意見を聞きながら現在の計画図をまとめ、湿地再生・植生管理部会では、現活動の継続や活動範囲を拡大していくために、新規加入者の呼びかけなどにも取り組んでいきます。

れんこんだまり

No.39

2013年10月10日

『第11回自然再生協議会』を開催しました！！

開催日時：2013年9月5日（木） 18：30～20：30

参加者：協議会学識委員6名、団体・個人委員16名、行政18名

■会長・副会長の改選が行われました

これまで土隆一委員が本協議会の会長を務めていましたが、今回の協議会より田中博通委員が会長を務めることとなりました。また、副会長は引き続き湯浅保雄委員が務めることとなりました。

■新規委員が加入しました

東海大学水棲環境研究会の1団体と個人委員3名が今回の協議会より参加することとなりました。また、これまで個人委員として参加していた静岡大学大学院理学研究科学術研究員の加藤英明委員が、両生類爬虫類の専門家として、学識委員に参加することとなりました。

■各部会の活動報告が行われました

第11回協議会では、湿地再生・植生管理部会と自然公園部会の活動に関する報告が行われました。各部会の活動に対し、学識委員や団体、個人員より以下の様な意見が挙げられました。

<遊水地の活動全般に関する意見>

- 部会以外にも遊水地で活動している団体もあるため、それらの団体の活動紹介も紹介して欲しい。
- 外来種のオオブタクサなどが増加しており喘息の原因にもなるため、花が咲く前に除草して欲しい。

<湿地再生・植生管理部会の活動に対する意見>

- 湿地再生・植生管理部会の活動は素晴らしい。今後は徐々に活動範囲を広げて行って欲しい。

<自然公園部会（あさはた緑地の公園計画）に対する意見>

- 水路の再生は、ホトケドジョウを指標にし再生すべき。
- 今後「あさはた緑地」の公園計画については、実施設計の中で意見を聞きながら変更するという事だがどのタイミングで意見を聞いていくのか。また、どの程度計画を変更できるのかを説明して欲しい。
- 昆虫だけの視点で植栽する樹木等を決定するのではなく、在来の植物や生態系への影響も踏まえ検討すべき。



■第11回協議会（もくせい会館）

ミズアオイ観察会を開催しました！！

湿地再生・植生管理部会では、今年度も湿地の攪乱・維持管理に取り組み、ミズアオイやタコノアシ等多くの植物が再生しました。

部会での取り組みや遊水地で見られる植物の素晴らしさを市民に伝えるため、9月28日（土）に「ミズアオイ観察会」を開催しました。

観察会には一般市民11名が参加し、部会員の説明を受けながら遊水地を歩き、この時期見られる植物観察を楽しんでいました。



【麻機遊水地の自然再生に関する活動の支援、参加を募集しております】 静岡県静岡土木事務所河川改良課

TEL:054-286-9363 FAX:054-286-9398 URL:<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shizuoka/tomoegawa/>